

教育委員会



伊田小学校

元気にゆたかにかしこく
ー学ぶ喜びと
生きるたのしさをー

校長 前田 浩文

【はつめい】

黒潮おどるいの岬、海のと
どろき聞きながら…。これは、
校歌の一節です。本校は、校
舎から大海原をパノラマで臨
むことができます。そんな雄
大な環境に抱かれて、学校教
育目標の「元気に ゆたかに
かしこく」、そんな21名の子
どもたちの育ちを保障すべく、
8名のスタッフで今年度のス
タートを切りました。

【校区研究(こくけん)】

私たちは、研究主題を「一
人ひとりを生かす教育活動の
創造」とし、将来の社会人を
見据え、正しいものの見方、
考え方を養い、不合理を見抜
き人として生きるための総合
力、つまり、学力と体力と徳
力を備えた児童の育成を目指
して取り組んでいます。

《学力向上を目指して》

なかまと共に、学び合い、
学びとりながら、自己実現を
果たしていく過程には、児童
の「安心・自由・自信」を保
障する学校文化の創造が不可
欠です。そうした認識の上に
立って教育活動を推進してい
ます。

①児童の実態を共有
児童が安心して学校生活を
送れているかについて、教職
員全員で実態の把握に努め、
互いに共有し、取り組むべき
課題に対して早急に対応する
よう心がけています。

②授業づくり
複式・少人数を生かした分
かる授業の創造を目指して、
外部講師を積極的に招聘し、
教材研究や授業研究を重ねて
います。

習った漢字や計算は、授業
中はもとより放課後を利用し、
スパイラルに練習することで
基礎・基本の力の定着を図っ
ています。到達目標を学級平
均90点以上に設定しています。

③表現力・コミュニケーション力



各学級の学習発表の場を発
表朝会として位置付けていま
す。発表後は、必ず、児童と
教師の評価(コメント)を行
い、次の意欲へとつなげてい
ます。

④情報教育

情報機器を活用した授業づ
くりを通して、児童の情報リ
テラシーの育成に努めていま
す。

⑤地域の教材化

地域の歴史や産業を調べた
り、田植えを体験したりして

地域のよさや労働、そして生
きることにについて学んでいま
す。

⑥読書タイム

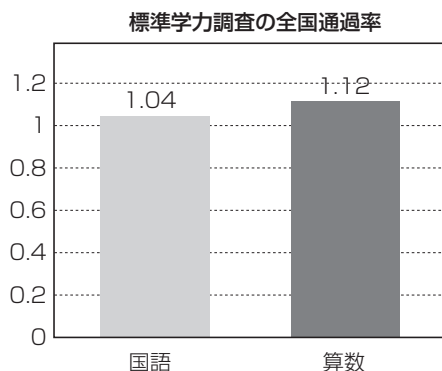
心を耕す時間として、午後
の掃除終了後、10分間、静か
に自分の好きな本を読む空間
を確保しています。長年の取
り組みで読書習慣が身につい
ています。

⑦よつこそ先輩

開かれた学校づくり推進委
員会「ふれあいのわ」と連携
し、本校の先輩の生き方に学
び、将来の夢を持ってもらう
ために、毎年地域を挙げて「い
きいき子育て集会」を開催し
ています。ちなみに、200
8年度は、海洋堂フィギュア
人形メーカーの宮脇修さんに
よる講演、2009年度は、
クラシックギター奏者の松田
弦さんによる弾き語りを行
いました。

⑧学力調査結果

今年度の標準学力調査(2
年～5年)の結果を全国通過
率(期待正答率を1とみた時
の本校の得点率)で表してい
ます。



国語・算数とも全国平均を
上回っていますが、観点別で
みると、どちらも活用力に弱
さが見られます。

また、全国学力・学習状況
調査(6年)においては、算
数B問題(主に活用力)に課
題が認められたものの、基礎
的な問題は、両教科とも全国
平均を上回る結果となってい
ます。

活用力向上の一つの手だて
として、授業の中で、相手に
分かるように説明する力を伸
ばしていくことを課題として
取り組みます。

心豊かに、生き抜く学力の
土台を築くために、教科・生
活等の指導に対してスタッフ
一丸となって推進しています。

佐賀中学校

「人間を大事に」

校長 島田 義富

【はじめに】

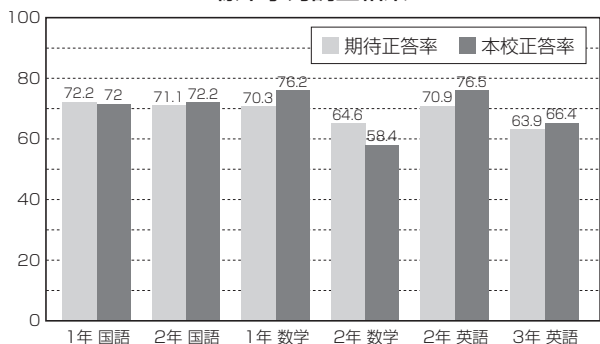
本校では、教育目標を「人間を大事に」とし、人権・「同和」教育を根底に据え、いじめや差別を許さない人としての生き方を大事にしてきました。その人権尊重の精神を受け継ぎ、日々の生活や授業や部活動だけでなく、学校行事においても大切なこととして今年度も取り組んでいます。

また、生き方につながる豊かな学力の保障をめざして、「自分」・「仲間」・「未来」を本年度の研究テーマとして、「基礎学力の定着と充実」・「仲間づくり」・「校内研修の充実」の3点に重点を置いた教育実践を進めています。

◆「基礎学力の定着と充実」授業改善

下のグラフが学力の状況で、まだまだ多くの課題があります。基礎学力の定着を図り学力を向上させるためには、日々の授業を充実させることが基本となります。そのために、学

標準学力調査結果



習意欲を高め、生徒同士の関わり合いや、読む・書く・考える活動を多く取り入れた授業改善に取り組んでいます。

◆家庭学習と基礎タイム

水曜以外の6校時終了後に15分間行われる基礎タイム(KIT)を、今年度は大幅に見直し、家庭学習につなげるための時間として取り組んでいます。国語、数学、英語、自主学習を4日間に振り分け、教科担任の指導のもと家庭学習の取りかかりを行うというものです。1学期の取り組みでは、家庭学習の質の向上がみられ、今後は量の向上も図りたいと考えています。

【仲間づくり】

◆佐中祭

本年度も「HAPPY INESS」愛されて10周年をテーマに佐中祭が行われました。これまでの先輩たちの想いを大切しながら、実行委員を中心に2カ月間さまざまな課題を検討し、計画と準備をしていきました。当日はあいにくの雨、しかも出店が例年より少々減ったにもかかわらず多くの皆さんに来ていただきました。当日は、吹奏楽部の演奏の他に、大方高校軽音楽部やA.L.Tのダニエル先生の素晴らしいパフォーマンスでステージを飾って頂きました。



大盛況のステージ発表や生徒の店舗

◆運動会

抜けるような青空のもと行われた運動会は、猛暑の中十分な練習ができなかったにもかかわらず、まとまりのある素晴らしいものになりました。毎年恒例の「長縄とび」「足競技では、各学級が見事な団結力を見せてくれました。



伝統のカツオの一本釣り組体操

◆1年生宿泊研修

本年度も1年生は、4月に幡多青少年の家で、「みんながつながる」ことを目標にした集団宿泊研修を行いました。こうした仲間づくりの取り組みを年度当初から進め、「中一ギャップ」と呼ばれる不登校や学力の低下をなくする取り組みへと繋げていっています。



宿泊研修での仲間づくりプログラム

◆その他の学校行事

その他にも、沖縄への修学旅行、職場体験学習、進路フォーラム、人権集会等々、生徒主体の学校行事になるよう心がけて取り組んでいます。

【校舎改築に向けて】

来年度1学期中の完成をめざした校舎の改築工事が進められています。夏休み中にプレハブの仮設校舎への移転を終え、2学期から授業が行われています。同時に、旧校舎の解体工事が、9月下旬までに全て終了しました。旧校舎とともにシンボルとして成長してきたワシントン椰子も全てが切り倒され、佐中を象徴するあの風景は、みんなの思い出の中へとしまいこまれました。新校舎が完成するまでの1年間を、これまでの佐中の歴史と伝統を振り返りながら、新しい佐中へと繋げていけるように大切に過ごしていきたいと考えています。



切り倒されるワシントン椰子と校舎跡地